

# 学習方法のメリット・デメリット

～はじめに～ どれが正解というわけではありません。メリット・デメリットを理解し、自分の目的に応じて使い分けて下さい。

方法	本番力	単元理解度	入試レベル到達度
単元別学習	▲	◎	◎
領域別学習	○	○	◎
模擬試験など	◎	▲	▲

※記号説明 … ▲弱い→◎強い

## 1. 単元別学習

教科書の単元ごとに必要な知識を重ね、受験で問われた過去問を分析することで、求められているレベルへたどり着きやすい学習方法。

- 【メリット】 ・基本から、どのレベルまでの問題を解けるようになればよいか分かるので、学習の優先順位が立てやすい。
- 【デメリット】 ・その単元の知識を使うことが分かっているということは、ヒントをあらかじめもらっているということ。本番は何の知識を使うかその引き出しを自分で見つけなければならぬので、単元別学習だけで終わってはいけない。

## 2. 領域別学習（計算・図形・関数）

学年の壁を越えた縦の学習で知識のつながりが確認できる学習方法。

- 【メリット】 ・学年が進んだときに、複合問題対策（本番力）になる。
- 【デメリット】 ・特になし

## 3. 模擬試験などの総合問題学習

入試の類似問題を解き、本番の得点力を伸ばすために不足している能力が見つかる学習方法。

- 【メリット】 ・自分のクセが見つかる。（スピードや正確性、没入度など）
- 【デメリット】 ・点数に目が行きがちで、間違え方（ミスなのか知識が全くなかったのか）や作戦ミス（時間配分や優先順位）による不正解への改善の仕方など、自己分析とそこからの勉強の流れが見つかりづらい。（これができる人は、飛躍的に伸びます。）

～おわりに～ レベルアップのキーワードは、『 目的意識（自ら目的を確認すること） 』です。何のために、今それをやっているのか、ゴール（目的）を持つことで、時間を有効活用できます。なんとなく10問計算を解くのか、スピードをつける練習なのか、ミス率を下げるのが目的なのかで本番力の付き方と、復習のステージや次のステップの見え方が変わってきます。

～ 今は未来の笑顔のための投資、意志＝お金 ～